

令和6年度 FFAC ステップアップ助成プログラム 募集要項 【③文化芸術を通じた社会課題に係る取組活動助成(社会課題取組助成)】

※隔年募集

1 趣旨・目的

福岡市において文化芸術活動を行う活動歴10年以上、かつ十分な活動実績が認められる団体を対象に、団体自らのステップアップにとどまらず、文化芸術を通して様々な社会課題に取り組むために、継続的・段階的な取り組みを必要とする活動に対して、最長2年間、継続的に経費の一部を助成します。あわせて専門分野のアドバイザーによる助言、フォローアップによる支援等を実施します。

2 対象となるジャンル

演劇、ダンス、音楽、美術、メディア芸術(メディアアート、アニメーション等)、伝統芸能、その他

3 助成の対象となる活動の実施期間

令和6年8月1日(木)から令和7年2月28日(金)まで

※助成対象活動が完了したときは、実績報告書(収支決算書添付)を活動完了の日から起算して30日を経過した日、または活動完了の日の属する年度の3月10日のいずれか早い日までに提出する必要があります。

4 助成の対象となる活動

福岡市内で申請団体自らが主催し、文化芸術を通して様々な社会課題に取り組むために実施する活動で、下記のいずれかに該当する活動

- ア 未来の担い手である子どもたちの育成
- イ 共生社会の実現に向けた社会参加の機会づくり
- ウ 地域の歴史・文化の継承
- エ 福岡市の魅力向上

※P.53、54「福岡市文化芸術振興計画【概要】」をご一読ください。

5 助成の対象とならない活動

- (1) 当助成金以外に福岡市または福岡市文化芸術振興財団から補助金または助成金の交付を受けているもの、或いはそれらに準じる金銭の交付を受けているもの
- (2) 宗教的、政治的、或いはチャリティーを目的とした活動と認められるもの
- (3) 営利を主な目的とする活動及び特定企業の広報・宣伝と認められるもの
- (4) 通常の定期公演・展示とみなされる事業と認められるもの
- (5) 学校教育の一環として行われる学校行事と認められるもの

- (6) 学術研究・学術的出版と認められるもの
- (7) 一般に公開あるいは公募されない活動と認められるもの
- (8) 教室(カルチャースクールを含む)、サークル、単独の流派等が行う稽古事や習い事等の発表会、講習会、展示会などの活動
- (9) 国、地方公共団体(福岡市を含む)が主催・共催する活動(名義のみの共催は除く)
- (10) 第三者の著作権その他第三者の権利などを侵害するもの。

6 助成の対象となる団体

文化芸術分野の発展・普及に資することを主たる目的として、主に福岡市内で活動し、今後の発展が期待される団体で、次の(1)~(6)の要件を全て満たすもの

- (1) 申請時点での活動歴が10年以上あり、かつ、申請したジャンルにおいて、自ら主催し、広く一般に公開された文化芸術に関する公演、展示、ワークショップ等を継続的に実施していること。

※団体が設立してから10年以上であること。

※実行委員会形式で申請する場合は、申請時点で実行委員会が発足しており、かつ中核となる構成団体または構成員の活動歴が10年以上であること。

- (2) 申請時点で過去2年間に、申請したジャンルにおいて、自ら主催し、広く一般に公開された文化芸術に関する公演、展示、ワークショップ等を1回以上実施していること。

※実行委員会形式で申請する場合は、中核となる構成団体または構成員に同様の実績があること。

※活動実績は、提出された実績資料(過去の公演チラシ等)で確認します。

- (3) 責任を持って当該活動を遂行する能力と意欲を有していること。

- (4) 主に福岡市内で活動していること。

- (5) 宗教活動、政治活動を目的としていないこと。

- (6) 次の(a)~(e)の要件をすべて満たし、団体としての組織及び責任の所在が明確であること

(a) 定款、寄付行為に類する規約等を有すること。

(b) 団体の意思を決定し執行する組織が確立していること。

(c) 自ら経理し、監査する等会計組織を有すること。

(d) 3名以上の役員を有すること。

(e) 団体活動の本拠として事務所を有すること。

※(b)~(e)については、(a)に掲げる規約等に明記されていることが必要です。

※(d)については、代表者、会計担当者、監査担当者を必ず置いてください。

兼任はできません。

※団体の法人格の有無は問いません。ただし、地方公共団体が基本金その他これに準じるものを出資している法人は除きます。

7 助成の対象とならない団体

次のいずれかに該当する団体は、助成の対象となりません。

※団体の構成員に該当する者が含まれている場合も同様です。

(1) 福岡市暴力団排除条例第2条に規定する暴力団および暴力団員もしくは暴力団員と密接な関係を有する者

※採択決定にあたり、警察へ照会を行います。

(2) 福岡市文化芸術振興財団の職員

8 助成金の交付額

上限 30 万円

※当該活動に係る経費の2分の1の額、または申請書に記載された自己負担金額のいずれか小さい額の範囲内で決定します(1万円未満切り捨て)。

※採択活動については、交付額の2分の1を上限として一部前払金が可能です。

9 優先的採択について

2年間の計画を有する活動については、2年間継続して助成を受けることができます。

ただし、1年ごとに審査し、採択の可否を決定します。

※2年間の活動計画を申請書に明記してください。

※優先的採択の対象となった活動については、「助成金交付決定通知書」にその旨を記載し通知します。

※優先的採択の対象となった場合でも、1年ごとに助成の申請をする必要があります。助成対象活動が計画に沿って実施され目標を達成できたか等の実績を踏まえ、その都度採否の審査を行います。

【優先的採択時の助成の対象となる活動の実施期間(2年目)】

令和7年4月1日(火)から令和8年2月28日(土)まで

※手続きの時期など詳細は、助成金交付決定を受けた団体に改めてお知らせします。

10 審査方法

一次審査	書類(申請書)による審査 ※一次審査結果は、6月中旬頃に申請者全員に郵送にて通知します。
二次審査	プレゼンテーションによる審査 ※一次審査通過者のみ7月1日(月)~7月5日(金)に実施予定です。 ※二次審査結果は、7月中旬頃に二次審査対象者に郵送にて通知します。

1 1 審査項目

審査は以下の項目に照らしておこないます。必ずご確認ください。

■活動内容について		
①	社会課題解決	目的・対象・効果が明確であり、社会課題の解決に資するもの
②	波及性	市民への高い波及効果が認められ、市民文化の向上をもたらすもの
③	地域への貢献	(ア)未来の担い手である子どもたちの育成(イ)共生社会の実現に向けた社会参加の機会づくり(ウ)地域の歴史・文化の継承のいずれかに貢献していると認められるもの(エ)福岡市の魅力向上に資するもの
■個人・団体について		
④	技能性	作品や出演者などの技術水準が高いと認められるもの
⑤	発展性	文化芸術活動を行う団体・個人としての今後の成長・発展をもたらすもの

1 2 助成活動に対する市の協力

助成活動に採択されると、福岡市及び福岡市文化芸術振興財団による「経費負担の後援事業」としての位置づけとなり、次の支援を受けることができます。

(1) 福岡市の施設の使用料の減免申請ができます。(市民会館ホールを除く)

- ・開催日の当日(※1)
- ・開催にかかる出演者、スタッフ等の控室として、同会場内の施設(視聴覚室、会議室等)を利用する場合は、その当日(※1・2)
- ・1事業に対して、リハーサルおよび仕込みに要する日(それぞれ1日ずつ)
- ・助成事業の一環としてワークショップ等を開催する場合は、その当日(※1・3)

※1 練習は対象外とします。

※2 開催会場に付設されている控室(ホール控室等)だけでは、事業の開催・運営に支障が出ると認められる場合に限ります。

※3 ワorkshop等のリハーサル及び仕込みは対象外とします。

※利用施設の受付担当者には、財団に現在助成金申請中であることと、採択・不採択の結果が後日判ることを必ずお伝えください。

※減免申請書を提出の際、福岡市文化芸術振興財団または福岡市文化振興課長の確認の記名押印が必要な場合があります。どちらの場合でも、必ず福岡市文化芸術振興財団へ記名押印が必要な書類をご持参ください。

(2) ポスター、チラシを福岡市の施設に置くことができます。

(3) 当財団のホームページ・メールマガジン等により活動の実施案内を配信できます。

(4) 財団主催事業にて、チラシの折込等を行うことができます。詳しくはご相談ください。

13 助成を受けている旨の表示について

助成金交付決定を受けた団体・個人は、当該活動の実施に際して作成するポスター、チラシ等の印刷物に、必ず下記2点およびロゴを記載してください。

助成：(公財)福岡市文化芸術振興財団「FFAC ステップアップ助成プログラム」

後援：福岡市、(公財)福岡市文化芸術振興財団



14 活動の実施確認について

助成活動の実施確認と評価のため、各分野の専門人材であるアドバイザーが活動の視察を行い、フィードバックを行ないます。

15 実施報告書の提出および報告会への参加について

助成金交付決定を受けた団体・個人には、活動実施後に報告書を提出していただきます。あわせて、報告会において、活動の実施成果・課題などについてご報告いただきます。報告会では、アドバイザーの評価をお伝えするとともに、アドバイザーや他の参加者と意見交換を行う場を設けます。

※報告会では、報告資料（PowerPoint等）を別途作成していただく予定です。

※優先的採択の活動の場合、報告会への参加は2年目の活動終了後となります。

16 採択者間の活動視察について

助成金交付決定を受けた団体・個人には、採択者同士でお互いの活動を視察できるよう、採択された助成活動の一覧を配布します。他の採択者の活動を視察したい場合は、一覧から視察を希望する活動の担当者へ連絡を取り、採択者同士で調整していただきます。

※採択者の皆さまの更なる活動発展の機会とするため、他の採択者の視察受入れへご協力をお願いします。

17 申請にあたっての提出物

	申込区分	
	団体	実行委員会
FFAC ステップアップ助成プログラム交付申請書（様式第1号）	○	○
添付様式一式		
活動内容(1)(2)	○	○
団体概要	○	○
収支予算積算内訳	○	○
チェックシート	○	○
団体名簿	○	○
中核となる構成団体または構成員	×	○
団体規約	○	○
実績資料（過去公演チラシ・パンフレット等、3枚以内）	○	○

18 申請時の留意事項

- (1) 申請は、助成金の交付を受けようとする活動の主催者が行ってください。
- (2) 申請書の記入にあたっては、本募集要項を必ずお読みください。
提出する申請書類は、助成の採択にあたっての審査資料となります。不実の記載や提出後に活動内容や予算額に大きな変更が生じることがないように、十分に検討の上、具体的かつ簡潔に記入してください。
なお、助成金の交付決定後に、団体の組織、対象活動の内容・会場・収支予算等に重要な変更が生じていると認められる場合は、交付されないことがあります。変更が生じる可能性が出てきた場合は、必ず事前に事務局までご相談ください。
- (3) 収支予算積算内訳の作成にあたっては、別表「助成金の対象となる経費」及び申請書の記載例を参考に記入してください。
- (4) 企業からの協賛金や民間助成団体からの助成金、補助金等の助成を受ける活動についても交付の対象となりますが、必ず収支予算積算内訳の所定の欄に記載してください。
ただし、特定の企業名等を活動名に付する「名称冠公演」は交付の対象となりません。
- (5) 収支予算書の収入総額と支出合計額は同一になるようにしてください。
- (6) 同一の団体、及び同一とみなされる団体（団体構成員が重複）が、複数の活動を申請することはできません。
※当助成プログラム内の別の助成種類であっても、複数申請することはできません。
- (7) 添付資料等が外国語で記載されている場合、必ず和訳を付けてください。

19 福岡市民芸術祭の参加団体認定について

申請された活動のうち、令和6年10月1日～12月31日に開催予定のものは、助成の採択・不採択に関わらず「令和6年度福岡市民芸術祭」の参加行事として認定します。

※ 事務局にて審査を行い、福岡市民芸術祭の認定対象に該当した行事に限ります。

※ 認定する場合は、別途メールにてご連絡します。

福岡市民芸術祭とは

市民の皆さまの文化芸術活動の発表の場・身近に文化芸術に触れ合う場として、毎年秋に開催する芸術のお祭りです。ホームページ等での広報協力や、福岡市および福岡市文化芸術振興財団の後援がつくなどのメリットがあります。

詳しくは芸術祭ホームページ (<https://fcac.jp/>) をご確認ください。



芸術祭 HP

20 申請期間

令和6年4月22日(月)～令和6年5月20日(月)

※郵送での申請の場合は、5月20日(月)必着

※メールでの申請の場合は、5月20日(月)17時必着

21 申請方法

電子メールまたは郵送にてご提出ください。窓口持参による受け付けはいたしません。

①電子メールによる提出

提出先：stepup@ffac.or.jp

メールタイトル：③FFAC ステップアップ助成プログラム申請

※5月20日(月)17時必着

※迷惑メール対策で「アドレス指定受信」「ドメイン指定受信」「メールフィルター」などのメール設定を行っている場合、受信できないことがあります。

財団(@ffac.or.jp)からのメールが受信できるよう、設定の変更をお願いします。

※申請メールを受信したときは、翌営業日までに申請を受領した旨をメールにてご連絡します。メールが届かない場合は、恐れ入りますがご連絡をお願いします。

②郵送による提出

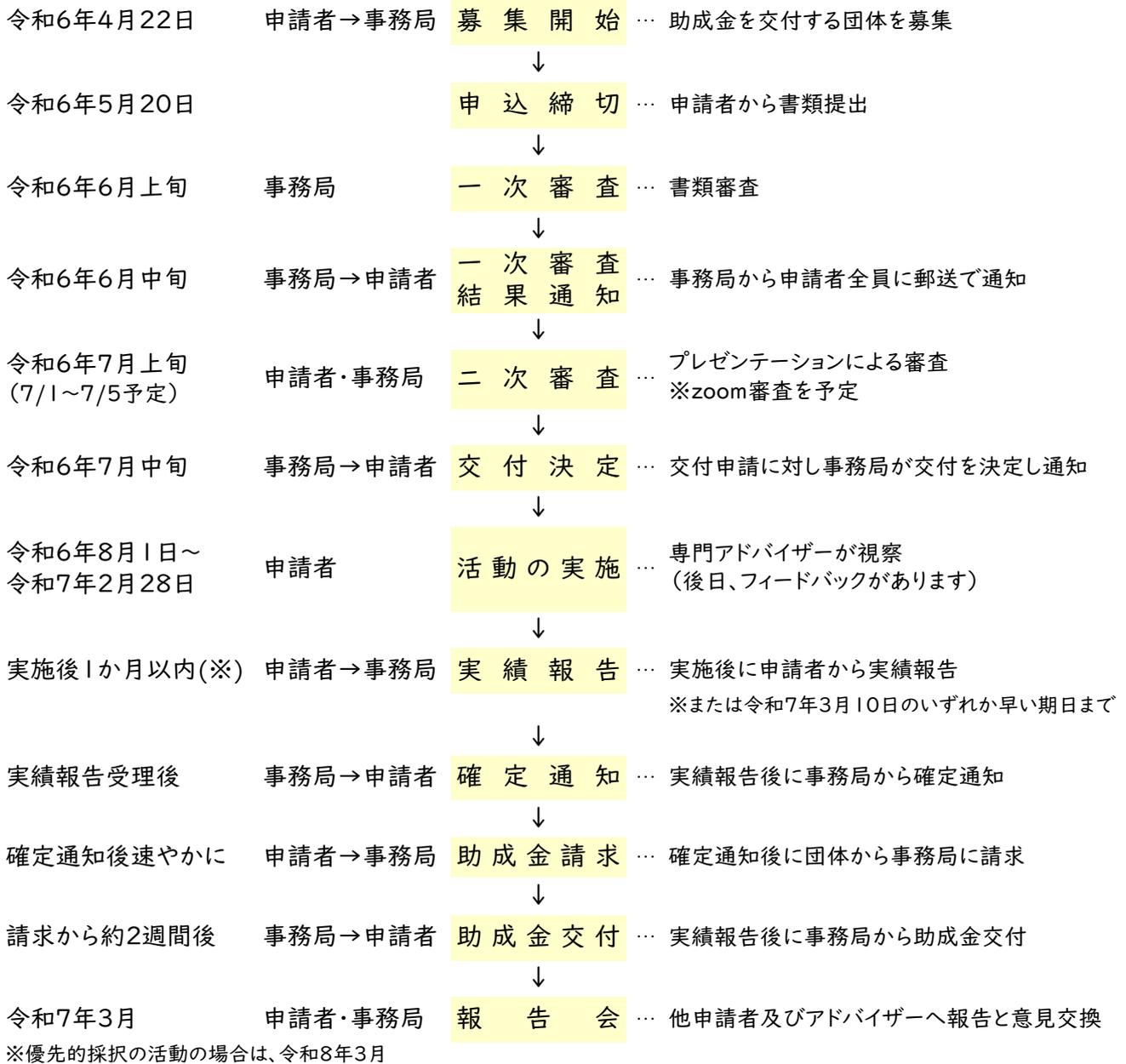
郵送先：〒812-0027 福岡市博多区下川端町3-1 リバレインセンタービル8階
(公財)福岡市文化芸術振興財団

※5月20日(月)必着

※配達記録等、郵送の記録が残る形で送付してください。受領の連絡はいたしません。

※申請書類の返却はいたしません。

■手続きの流れ(③社会課題取組助成)



※その他手続き(該当の場合のみ)

変更申請	下記の場合、申請者から提出 (1) 助成対象活動の内容を変更しようとするとき。(ただし、活動の趣旨・目的及びばす影響が軽微であると認められる場合(日程、会場等)を除く。) (2) 助成対象活動に要する経費の総額又は経費の配分を変更しようとするとき。 (ただし、助成対象経費の総額の50%以内の変更はこの限りではない。)
一部前払金申請	一部前払金を希望する場合には申請者から提出 交付決定額の1/2(50%)上限で一部前払い
中止・廃止申請	活動を中止又は廃止する場合には申請者から提出

（様式第1号）

令和6年度 FFACステップアップ助成プログラム 交付申請書

年 月 日

公益財団法人 福岡市文化芸術振興財団理事長

住所： 〒****-****
 ○○市○○区○○

団体名： ○○○○○○○○

代表者職・氏名： 代表 ○○○○

（芸名、雅号など： ○○ ○○）

下記のとおり申請いたします。

記

助成の種類	文化芸術を通じた社会課題に係る取組活動助成（社会課題取組助成）
-------	---------------------------------

担当者 連絡先	関係書類送付先住所 〒****-**** ○○市○○区○○・・・	
	電話番号（勤務先・自宅・携帯） ****-****-****	Emailアドレス ****@****. **. **
	時間外連絡先 ****-****-****	ふりがな ***** 氏名 ○○○ ○○○
	FAX番号（あれば） ****-****-****	

代表者 連絡先	電話番号 ****-****-****	Emailアドレス ****@****. **. **
------------	------------------------	--------------------------------

交付を受けようとする助成金の額

収支予算	（収入）		（支出）	
	区分	予算額（円）	区分	予算額（円）
	活動収入 小計（イ）	405,000	助成対象経費 合計（A）	1,244,800
	自己負担金（ロ）	839,800		

交付申請額	30	万円
-------	----	----

※助成金は次の金額内に収まっているか、ご確認ください。

- ① 助成対象経費（A）の2分の1の額 = 622,400 円
- ② 自己負担金（ロ）の額 = 839,800 円
- ⇒ ①②のうち、低い額 = 62 万円（端数切り捨て、1万円単位）

ただし、社会課題取組助成は上限30万円。

※色のついたセルは自動計算の結果が表示されるので、計算式を変更しないでください。

活動内容(1)

助成の種類	文化芸術を通じた社会課題に係る取組活動助成（社会課題取組助成）	
申請者の種別	団体	
ジャンル	演劇	
（ふりがな）	△△△△△ △△△△△△△△	
活動名	○○○○○ ○○○○○○○○ ☆具体的な公演名等（ポスター等に表示する名称）を記入してください。	
活動の目的及び内容	（趣旨・目的）	
	☆当該活動を行う目的、意義等を簡潔に記入してください。	
	（実施時期・回数・日数）	（実施場所・文化施設名）
	＊＊年＊＊月＊＊日～＊＊日 ＊回	○○会館 大ホール（福岡市○○区○○）
	（内容）活動内容について具体的にご記入ください。 ※活動に参加する出演者・スタッフについては、フルネームでご記入ください。 ※この表に収まるように記載してください。	
	（公演：概要、演目、曲目、幕構成等） （展示：作品の種類、点数、主な作品名、出品者等） ○○○○○ ○○○○○○○○…	
※以下に、2年目の計画を具体的にご記入ください（助成対象期間：令和7年4月1日～令和8年2月28日）		

活動内容(2)

審査項目に対する活動のポイント	※募集要項の審査項目に沿ってご記入ください	
	社会課題解決	○○○○○○○○○…
	波及性	○○○○○○○○○…
	地域への貢献	○○○○○○○○○…
	技能性	○○○○○○○○○…
発展性	○○○○○○○○○…	
本活動によって申込者が目指すステップアップの内容（成果目標）	当該活動を計画するに至った経緯や背景（従来の活動の課題等を踏まえ、具体的に記載してください）	
	○○○○○ ○○○○○○○○…	
	当該活動のステップアップの内容と成果目標（従来の活動から見て、どのような新しい取組を行い、どのような目標の達成を目指すのか具体的に記載してください）	
	○○○○○ ○○○○○○○○…	
当該活動終了後のビジョン（当該活動の成果を将来的にどう活かしていくか、具体的に記載してください）		
○○○○○ ○○○○○○○○…		
共催者・後援者・協賛者等の名称と役割	共催／○○○○ 後援／○○県（申込中） 協賛／○○○株式会社（協賛金提供）、○○○新聞社（広報協力）	
福岡市民芸術祭の参加行事認定について	<input checked="" type="checkbox"/> 令和6年10月1日～12月31日に開催予定の活動は、助成の採択・不採択に関わらず「令和6年度福岡市民芸術祭」の参加行事として認定される場合があることを確認しました。	

団体概要

ふりがな	○○○○○○○○		代表者	職名	代表	
	団体名	○○○○○○○○		ふりがな	△△△△△△△△	
団体住所 (所在地)		〒 ***_**** ○○市○○区○○…		氏名	○○○○○ (芸名・雅号など:)	
			生年月日	大正・昭和・平成 **年(和歴) **月 **日		
			電話番号	***-***-****		
			ホームページアドレス	http://www.***.**.jp		
団体設立年月			西暦 **年 **月 ※申請時点で活動歴が10年以上であること			
法人設立年月(法人の場合のみ記入)			西暦 **年 **月(主務官庁名:) ※申請時点で活動歴が10年以上であること			
沿革	※設立の目的や経緯、設立から現在までの組織の変遷、これまでにに行った主な活動等を記入して下さい。 **年**月 ○○愛好会 **名で結成 **年**月 第1回公演「○○○○」を行う **年**月 ○○○○賞を受賞 **年**月 「○○○」と改称 **年**月 第2回公演「○○○○」を行う **年**月 ○○○と合同で○○○○を行う					
計画	[令和6年度の主な自主事業計画] ※令和6年度に計画している自主事業について記入してください。 ○○○○公演					
主催した公演・展示等の実績	※申請したジャンルにおいて、自ら主催し、広く一般に公開された文化芸術に関する公演、展示、ワークショップ等を継続的に実施し、かつ過去2年間に1回以上実施していることが必要です。あわせて、実績資料(過去公演チラシ、パンフレット等)を提出してください。 ※申請団体が実行委員会形式の場合、中核となる構成団体または構成員に同様の実績があることが必要です。次頁「中核となる構成員(又は構成団体)」にて、活動実績を記入してください。 ●●年●●月 第1回公演「○○○○」公演 ●●年●●月 第2回公演「○○○○」公演 ●●年●●月 第3回公演「○○○○」公演 とシンポジウム開催 ●●年●●月 第4回公演「○○○○」公演					
過去助成金実績	■FFACステップアップ助成プログラム 採択年度[●●年度 / ●●年度 / ●●年度] ■その他助成金 [助成金名称・採択年度: ○○○○基金助成 / ●●年度] [助成金名称・採択年度: ○○県○○文化活動支援助成 / ●●年度]					
採択者間の活動視察	※採択された場合に配布する、助成活動の一覧に掲載する情報を記入してください(要項P38参照)					
	担当者名	○○○○○	担当者連絡先	***-***-****		
参照先	※助成活動の内容が分かるホームページ等あれば、ご記入ください。 http://www.***.**.jp 、Instagramアカウント@△△△△△					

中核となる構成団体(又は構成員)※実行委員会形式の場合のみ提出

ふりがな	○○○○○○○○	代表者 又は個人	職名	代表
団体名	○○○○○○○○		ふりがな	△△△△△△△△
団体住所 (所在地)	〒 ***-**** ○○市○○区○○・・・		氏名	○○○○○ (芸名・雅号など:)
			生年月日	大正・昭和・平成 **年(和歴) **月 **日
		電話番号	***-***-****	
		ホームページアドレス	http://www.***.**.jp	
団体設立年月(個人の場合は、活動開始年月)		西暦 **年 **月 ※申請時点で活動歴が10年以上であること		
法人設立年月(法人の場合のみ記入)		西暦 **年 **月(主務官庁名:) ※申請時点で活動歴が10年以上であること		
沿革	※設立(個人の場合は活動開始)の目的や経緯、設立(個人の場合は活動開始)から現在までの組織の変遷、これまでに 行った主な活動等を記入して下さい。 **年**月 ○○愛好会 **名で結成 **年**月 第1回公演「○○○○」を行う **年**月 ○○○○賞を受賞 **年**月 「○○○」と改称 **年**月 第2回公演「○○○○」を行う **年**月 ○○○と合同で○○○○を行う			
計画	※令和6年度に計画している自主事業について記入してください。 ○○○○公演			
主催した 公演・展示 等の実績	※申請団体が実行委員会形式の場合、中核となる構成団体または構成員について、 過去2年間に 、申請したジャンルにおいて、自ら主催し、広く一般に公開された文化芸術活動に関する公演、展示、ワークショップ等を1回以上実施していることが必要です。あわせて、実績資料(過去公演チラシ、パンフレット等)を提出してください。 ●●年●●月 第1回公演「○○○○」公演 ●●年●●月 第2回公演「○○○○」公演 ●●年●●月 第3回公演「○○○○」公演 とシンポジウム開催 ●●年●●月 第4回公演「○○○○」公演			
過去助成金 実績	■FFACステップアップ助成プログラム 採択年度[年度 / 年度 / 年度] ■その他助成金 [助成金名称・採択年度: / 年度] [助成金名称・採択年度: / 年度]			

団体名簿

団体名	○○○○○○○○
-----	----------

	役職	氏名(ご本名)	フリガナ	生年月日		
				年(※和歴)	月	日
1	代表	○○ ○○	△△△△△	****	**	**
2	副代表	○○ ○○	△△△△△	****	**	**
3	事務局長	○○ ○○	△△△△△	****	**	**
4	会計	○○ ○○	△△△△△	****	**	**
5	会計	○○ ○○	△△△△△	****	**	**
6	監事	○○ ○○	△△△△△	****	**	**
7	事務担当	○○ ○○	△△△△△	****	**	**
8	団員	○○ ○○	△△△△△	****	**	**
9	団員	○○ ○○	△△△△△	****	**	**
10	団員	○○ ○○	△△△△△	****	**	**
11	団員	○○ ○○	△△△△△	****	**	**
12	団員	○○ ○○	△△△△△	****	**	**
13	団員	○○ ○○	△△△△△	****	**	**
14	団員	○○ ○○	△△△△△	****	**	**
15	団員	○○ ○○	△△△△△	****	**	**
16						
17						
18						
19						
20						

※この用紙は任意様式です。同上項目が記載された既存の名簿がある場合はそちらに替えてご提出されても差支えありません。

[注意事項]

- 団体代表、会計担当者、監査担当者を必ず明記してください。同一人物の兼任は不可とします。
- 福岡市暴力団排除条例第2条に規定する暴力団または暴力団員もしくは暴力団員と密接な関係を有する団体・個人でないことが助成の対象条件です。採択決定にあたり、警察へ照会を行います。

③文化芸術を通じた社会課題に係る取組活動助成（社会課題取組助成）

収支予算積算内訳

（収 入） ※積算根拠が明確になるように、可能な限り、単価や日数等を具体的に記入してください。

区分	予算額（円）	内訳			
		項目	単価（円）	数量	金額（円）
活動収入	145,000	入場料(前売)	1,000	100	100,000
		入場料(当日)	1,500	30	45,000
	※入場料収入は下記計算式を用い、入場見込率は65%以上で設定し、計算すること。 設定席数 200席×入場見込率 65%=入場者見込み 130人				
	100,000	〇〇負担金	100,000	1	100,000
	100,000	〇〇振興基金助成金			100,000
	※内定済みの助成金はこちらに記入し、申請中の助成金は、枠外の別欄に記入すること。 ※「FFACステップアップ助成プログラム」の助成金は記入しないこと。				
	20,000	〇〇株式会社	20,000	1	20,000
40,000	ワークショップ等の参加費	20,000	2	40,000	
0	広告料・その他収入				
小計（イ）	405,000				
自己負担金（ロ）	839,800	（ステップアップ助成金交付申請額： 300,000円）			
合計（イ）+（ロ）	1,244,800	※収入合計と支出合計（A）は一致するように記載してください。			

※申請中の助成金がある場合、その申請先と申請額を記入してください。

収支予算積算内訳

(支 出) ※積算根拠が明確になるように、可能な限り、単価や日数等を具体的に記入してください。

区分	予算額 (円)	内 訳					
		項目	単 価 (円)	数 量	金 額 (円)		
助成対象経費	作品借上費	150,000	作品借上料	50,000	1	50,000	
			作品保険料	100,000	1	100,000	
	出演・音楽・文芸費	530,000	出演料	出演料	30,000	5	150,000
				演奏料	30,000	5	150,000
			音楽費	編曲料	30,000	1	30,000
				文芸費	舞台監督費	100,000	1
			著作権資料料	100,000	1	100,000	
	設営・舞台裏	170,000	舞台費	道具費	50,000	1	50,000
				会場借上料	50,000	1	50,000
				会場付帯設備費	50,000	1	50,000
			運営費	スタッフ弁当代	1,000	20	20,000
	謝金・旅費 ・宣伝費等	394,800	謝金	会場整理謝金	10,000	3	30,000
旅費			出演者交通費	5,000	5	25,000	
通信費			案内状送付料	84	100	8,400	
宣伝費			新聞広告費	250,000	1	250,000	
					1		
					1		
印刷費			チラシ	2	500	1,000	
			ポスター	2	50	100	
			プログラム	2	150	300	
記録費	写真費	50,000	1	50,000			
保険料	催事保険料	10,000	3	30,000			
合 計 (A)	1,244,800	※収入合計と支出合計 (A) は一致するように記載してください。					

FFACステップアップ助成プログラム チェックシート

団体名	○○○○○○○○
活動名	○○○○○ ○○○○○○○

※ 交付申請書及び記入例を参照の上、作成した提出書類に不備等がないことを□欄にチェックを入れ、最終確認してください。

● 提出書類について

- 提出書類の団体名、代表者名、は全て統一されていますか。
- 出演者のプロフィールや活動実績が判る資料（過去公演チラシ等）を添付しましたか。
- 団体規約、団体名簿を添付しましたか。
- （実行委員会の場合）
団体規約、団体名簿、中核となる構成団体または構成員の様式を添付しましたか。
- 団体名簿には、代表者、会計担当者、監査担当者をそれぞれ明記していますか。

● FFACステップアップ助成プログラム交付申請書(様式第1号)、及び活動内容・団体概要

- 申請者欄に記載している団体名が、活動の主催者ですか。
- 申請ジャンルについて選択しましたか。（いずれか一つを選択）
- 活動の実施時期・回数・日数、会場・施設名は具体的に記入しましたか。
- 活動の目的及び内容、活動のポイントについて、募集案内の記入例を参照のうえ、記入しましたか。
- ステップアップの内容（成果目標）、福岡市民芸術祭の参加行事認定についての確認、採択者間の活動視察に関する項目等、該当するすべてを記入しましたか。
- 担当者の連絡先を記入しましたか。

● 収支予算積算内訳

- 会場の設定席数、入場見込を記入しましたか。
- 当該活動で他の助成金に申請あるいは内定している場合、該当する欄にその内容を記入しましたか。
- 再計算し、数字は間違っていないか確認しましたか。
- 直接経費の区分は適正ですか。（別表参照）
- 直接経費に記載できない項目が入っていませんか。（別表参照）
- 経費の内訳は具体的な名称になっていますか。（「雑費」「予備費」などの費目は認められません。）
- 収入総額と支出合計は同一金額になっていますか。
- 交付を受けようとする助成金の額は規定の範囲内の金額になっていますか。
- 控えとして、提出物の写しは取りましたか。必ず保管してください。